

第 5 回 杉並区立天沼中学校校舎改築検討懇談会

会 議 名	第 5 回 杉並区立天沼中学校校舎改築検討懇談会
日 時	令和 7 年 9 月 2 日（木）午後 2 時 00 分～ 4 時 09 分
場 所	天沼中学校 視聴覚室
出 席 者	懇談会委員 18 名（欠席 4 名）
傍 聴 者	0 名
次 第	1 第 4 回天沼中改築検討懇談会ワークショップ等での 主な意見について 2 改築基本方針（修正案）について 3 新校舎の配置計画案について
資 料	資料 1 杉並区立天沼中学校校舎改築検討懇談会 委員名簿 資料 2 第 4 回天沼中改築検討懇談会ワークショップでの主な意見 資料 3 第 4 回天沼中改築検討懇談会アンケートでのご意見等 資料 4 天沼中学校校舎改築に関するアンケート結果（天沼中学生） 資料 5－1 天沼中学校校舎改築基本方針（修正案） 資料 5－2 天沼中学校校舎改築基本方針（修正案）新旧対照表 資料 6 「学びのプラットフォーム」について 資料 7 校舎配置ごとのステップ図 資料 8 校舎配置案ごとの特徴比較

進行役	<p>それでは、皆さん、こんにちは。第 5 回天沼中学校校舎改築検討懇談会を始めさせていただきたいと思います。ご多用の中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>今回の第 5 回目から懇談会に加わっていただくことになりました、天沼中学校保護者の方です。簡単に自己紹介をお願いします。</p>
委員	<p>天沼中学校の改築検討懇談会の委員として参加させていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>現在、この天沼中学校に 2 人の子どもを通わせていただいております。約 2 年半後ぐらいには、もう 1 人子どもが入学する予定でございます。私自身も天沼中学校出身のため大変思い入れもあり、ご縁のある学校の改築に関わらせていただくことを、大変ありがたく感じておりま</p>

	<p>す。</p> <p>微力ではございますが、様々な視点から改築の検討に協力できるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。（拍手）</p>
進行役	<p>本日は、4名の委員からご欠席の連絡を頂いています。</p> <p>前回の懇談会ではワークショップを行いまして、意見交換を大変活発に行っていただいたと思います。「ロの字で座るより話しやすかった」というご意見が複数ありましたので、今回の懇談会では、具体的に配置計画や平面計画について話し合っていくというところもありまして、さらにご発言いただけるよう、今日もグループに分けた形でお座りいただくようにしています。この座席配置については、また必要に応じて見直していきますので、お気づきの点がありましたら事務局までお知らせいただければと思います。</p> <p>本日は午後4時に閉会といたしますので、円滑な進行にご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、配付資料の確認と本日の懇談会の流れについて、事務局からよろしくお願いします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>それでは、資料の確認をさせていただきたいと思います。先日郵送させていただきました資料から確認させていただきます。</p> <p>まず次第が1枚ありまして、資料1、懇談会の委員名簿。本日時点のものでございます。</p> <p>資料2「ワークショップでの主な意見」。</p> <p>資料3が「アンケートでのご意見等」について。</p> <p>資料4が「アンケートでの主な意見」。</p> <p>資料5-1はA3判、大きいものをZ折りにしたものでございます。</p> <p>資料5-2が「新旧対照表」になっております。</p> <p>資料6は「学びのプラットフォーム」の解説の資料でございます。</p> <p>そして、資料7はA3が全部で5枚クリップで留まっているかと思えます。</p> <p>資料8がA3横の1枚のものになっております。</p> <p>ここまでが事前に送付させていただいた資料でございます。</p> <p>あと、席上に本日の席次表と、帰りに出していただきたい感想シートを置かせていただいております。</p> <p>お配りしている資料は以上でございます。過不足等ありませんでしょうか。大丈夫でしょうか。</p> <p>では、資料は以上でございます。</p>

	<p>引き続きまして、本日の会の流れについてご説明さしあげたいと思います。本日の懇談会の議題は、次第に書いてございます３つのとおりになっております。</p> <p>まず初めに、前回のワークショップ等での主な意見について振り返り、確認をしたいと思います。</p> <p>次に、前回までの意見を踏まえまして、改築基本方針の修正点について、新旧対照表を用いて説明いたします。それらについての質疑を経まして、本日、委員の皆様にご了承いただければありがたいと考えております。</p> <p>ご承いただきましたら、区役所で政策経営部門と文言等の若干の調整があるかと思いますので、その調整した部分につきましては次回以降、懇談会に報告させていただきたいと思います。</p> <p>議題の３番目でございますけれども、新しい校舎の配置計画案について検討していきます。本日、設計事務所から、４つの案について提示を頂いております。それらの案の特徴などについて説明をしていただきます。</p> <p>次にその４つの案についての質疑を行いまして、その後、委員の皆様でグループワークを行いたいと思います。グループワークで出ました意見を発表しまして、全体で共有したいと思っております。それらの意見を全体で共有させていただきまして、学識の先生お二人からもコメントを頂きたいと思います。</p> <p>本日の到達点といたしましては、次回９月２９日の懇談会で、提示いただいた配置案を２案程度に絞っていきたいと考えておりますので、絞り込むときに必要な比較条件、今足りていない項目等を洗い出したいと思っております。その情報について設計事務所や事務局で確認しまして、次回の懇談会にご提示できるようにと考えております。そこまで今日できたらうれしいなと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>
進行役	<p>それでは、次第の１番「第４回天沼中学校校舎改築検討懇談会ワークショップ等での主な意見について」ということで、事務局からご説明お願いいたします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>それでは、資料２を御覧いただきたいと思います。</p> <p>こちらＡ４横のものですが、まず前回のうちのテーマ１でございます。「自分が生徒（児童）だったら、どのような学校に通いたいか」というテーマで、皆さんで意見交換をさせていただきました。「安心で</p>

	<p>きる居場所」「多様な人々との交流」「教育環境」「その他」とグルーピングさせてもらいました。</p> <p>「安心できる居場所」にグルーピングした中では、主に子どもですとか、ほっとできる学校、安心・安全、部活動等全力でということもありました。あとは安心できる居場所、ちょっと休めるスペースやベンチ、放課後に過ごせる場（広い校庭、体育館、図書室での自習）、最後のところにも安全というのが出てきております。</p> <p>「多様な人々との交流」ということで、生徒同士や生徒と先生、地域の人との交流、また先生とフランクに話せる、あと自由に語り合える場所（木陰、ベンチ、水場）という意見がありました。また、既存校舎の1階に今あるサロンですとか廊下のベンチの継承とか、ほかのクラスの友達とおしゃべりしたいという意見もありました。</p> <p>「教育環境」といたしましては、見通しの良い設備（大きな窓、明るい廊下）、あと明るい玄関・ピロティなどがありました。またおしゃれな図書室ですとか、スムーズな移動。セパレートできる教室、季節が感じられる自然に囲まれた学校。図書館のことについても入っております。図書館の充実というところです。あとはどの教室からもアクセスしやすいフリースペース、個人で勉強できるスペース、個人の収納スペースについての意見もありました。</p> <p>「その他」で、伝統文化、大きな水槽、服装というところも出ていました。</p> <p>裏に行きまして、「地域が求めるこれからの学校」ということで、こちらは5つにグルーピングしました。</p> <p>まず「地域に開かれた学校」ということで、幅広い年齢の方に活用してほしい、中学生から大人まで関わり続けられる学校、卒業後も気軽に利用できる、日常的に気軽に立ち寄れるといった意見がありました。また、学びの拠点としてダンス、スポーツ、ボランティア、町会などで活用したいという意見もありました。</p> <p>「地域住民との交流・関わり」ということで、安全を確保しながら地域と連携・協力、体験や学び、交流が活発になってほしい、学校行事のお手伝いもしたい、あとは地域と共存、助け合える学校という意見もありました。</p> <p>「開放施設」としては、プール、図書館、体育館、校庭、教室。学校の外周をウォーキングコースにする。あとはスポーツセンター機能ですとか、これらの施設が借りやすい学校、最後にカフェというのもありま</p>
--	--

した。

「防災機能の強化」ということで、地域の主要な防災拠点、休息が取れる和室、震災救援所として学校と共存できる施設というところがございます。「防災機能の強化」部分につきましては、実はたくさんの意見を頂いております。集約した分、ボリュームが少なく見えますけれども、実際、数は非常に多かったと認識しております。

「その他」でございますけれども、設備が余ったときにはほかの公的施設とのリンクができるような学校施設ということで、これから子どもが少なくなってきたときに、余裕があったときにはという意見かと思えます。

ワークショップでの主な意見としては以上でございます。

次に、資料3でございます。

こちらは第4回のときに、皆様、帰りに記載いただきましたシートから抜粋したものでございます。簡単に説明させていただきます。

「○」の1つ目です。ここでは「自由」「交流」「防災」「施設開放」がポイントかなというご意見を頂きました。

あとは5番目です。災害時も可能な限り自助できる設備。天沼中学校の中で一通り避難生活ができるようなということかなと思っております。あと、プールの有効活用というところをご意見頂いております。こちらの方の意見の最後です。天沼地域に安心できる公共施設がないので、天沼中がこの地域の代表的な施設になってほしいというご意見でございます。

8番目にも「防災」「自由」「居場所」「交流の場」というキーワードを出していただいて、この方も防災機能の強化というご意見を頂きました。

裏面に行きまして、生徒が自由に語り合えるくつろぎ空間、地域の頼りとなる万全な避難施設という意見を頂いております。

資料3は以上でございます。

続きまして、資料4は生徒の皆さんから頂いたアンケートです。

2年生、3年生については、以前「メビウス」のほうでまとめたものでした。去年アンケートした結果の集約前のデータを見せていただきまして、参考にさせていただきました。また、今年の1年生にも、同様の設問でアンケートを取らせていただきました。それぞれ集約しまして、グルーピングして主な意見を出させていたしております。

分類ですけれども、「誰もが安心して過ごせる学校」として3つ意見

	<p>があります。3つ目に、一人になれるスペースが欲しいというところ です。</p> <p>「生徒・先生と交流できる学校」として、オープンスペース、テラス、 サロンの整備といった意見がありました。またベンチ、芝生、あと放課 後の教室開放という意見もありました。</p> <p>「利便性の高い学校」ということで、スムーズな移動、広い更衣室、 自習室、様々な用途で使える部屋、図書館機能の充実、大きくて仕 切りのあるロッカーといったものを望むという意見がありました。</p> <p>「安心・安全な学校」ということで、防犯対策の強化、教室の施錠と いうところです。</p> <p>「地域に開かれた学校」ということで、校庭、体育館、テニスコート、 音楽室、自習室の開放、夏休み期間中のプール開放、天沼地域の図書館 機能、あとは図書室で自習、視聴覚室、交流スペースの整備といった意 見がありました。</p> <p>次が「明るく自然豊かな学校」で、芝生の広場、屋上庭園、花壇の整 備、光が入る教室、中庭ということでございます。</p> <p>「スポーツが盛んな学校」ということで、人工芝の校庭、広い体育館、 トレーニングルーム、校庭の照明、ひさしの多いプール、校庭のバスケ ットゴール。</p> <p>「その他」として、2学年が同時に利用できる更衣室等々の意見があ りました。</p> <p>これらが、これまで頂いた意見でございます。こちらを、この後説明 いたします「改築基本方針」に改めて整理をしてございますので、後ほ どまた説明をさせていただきたいと思えます。</p> <p>資料2、資料3、資料4までの説明は以上でございます。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。ただいまの説明のところにご意見やご質問 がある方は、挙手でお知らせください。よろしいでしょうか。</p> <p>続いて、次第2の「改築基本方針（修正案）について」です。事務局 からご説明をお願いします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>それでは、「改築基本方針」につきまして、前回からの修正点を（ま とめた）資料5－2、A3の縦の表になっています新旧対照表を御覧い ただきたいと思えます。</p> <p>時間の都合で、細かな文言追加等説明につきましては省略させてい たきます。ポイントを絞って説明させていただきたいと思えます。</p> <p>修正の考え方といたしましては、前回のワークショップなどで頂きま</p>

	<p>した意見を参考に、基本方針の記載に具体的な文言等を加えております。</p> <p>取組Cを御覧ください。今お話ししたとおり、人工芝を希望する意見が複数あったことから、直接ではありませんけれども、「適切な素材」という表現で記載をさせていただきました。</p> <p>次に、取組Jを御覧ください。現在の校舎にあります廊下のベンチまたはサロンのような空間を望む意見が多くありましたので、そちらを具体的に記載を加えさせていただきました。</p> <p>取組Kでございます。取組Kはさざんかステップアップ教室の記載になっております。まず児童生徒が安心して通えること、あと中学校という建物に併設の施設になりますので、小学生が怖がることないように通えて、保護者も不安に思うことなく通ってもらえるということで工夫して、整備していきたいと思っております。</p> <p>取組Lを御覧ください。こちらはセキュリティ対策や動線の配慮によって、安全確保について記載をしております。</p> <p>目標VIと取組M、取組N、取組Oにつきましては、「学びのプラットフォーム」に関連した記載に変更させていただきました。「学びのプラットフォーム」の考え方につきましては教育ビジョン推進計画等にも記載しておりまして、これから杉並区教育委員会としてもしっかりと取り組んでいくところでございます。以前の記載やワークショップでの意見なども参考に、文章を見直しております。</p> <p>目標VIIでは、天沼地域に公共施設が少なく、天沼中学校が貴重な防災拠点になるというところを踏まえて修正をしたところでございます。</p> <p>簡単でございますが、基本方針につきましては以上でございます。</p> <p>ここで目標VIで触れました「学びのプラットフォーム」につきまして、学校支援課長から簡単にご説明いただきたいと思います。</p>
学校支援課長	<p>ただいまご紹介いただきました学校支援課長です。私からは今回新しくキーワードとして追記させていただいた「学びのプラットフォーム」について、簡単にご紹介させていただきます。</p> <p>今、お話にもありましたが、「学びのプラットフォーム」は、杉並区の基本構想の中の学びの分野で位置づけられた、これからの学校あるいは様々な教育施設に関わる1つのコンセプトとして、杉並区で使っている言葉になります。</p> <p>ワークショップなどで頂いたご意見の中でも、地域に開かれた学校あるいは地域住民との交流、関わり、多様な人々との交流といったくくり</p>

	<p>の中で、皆さんの中からもこの「学びのプラットフォーム」に関わる考え方、そこに寄せられている期待、そんなものを多く受け取ることができたことから、「学びのプラットフォーム」として追記をさせていただいたということです。</p> <p>資料6を見ていただきますと、これからの社会の中で、これまで以上に社会の環境の変化が激しく、「人生100年時代」と言われる中で、学校教育で学んだことだけで、生涯学ぶ機会なく生きるということはなかなか難しい。そんな時代の中で、学校卒業後も身近な教育施設として学校の間を使うことがもっとできるといいのではないかという観点が1つ。</p> <p>それと、学校施設にいろいろな大人の方が関わりを持つことを通して、子どもたち自身も多様な出会いを経験し、あるいはこれから「探究」ということが学習のキーワードとされていますが、社会課題に目を向けていくきっかけとして、子どもたちにとっても、学校施設が「学びのプラットフォーム」として学びの交差点になっていくことが有効なのではないかと。そういうものをひっくるめた考え方ということで、イメージ図としては資料6に示したものになります。</p> <p>この間、まずは中学生の施設として子どもたちの安全が第一というご意見をいただいています。それを大前提とした上で、大人と中学生の学び合いの関係を生み出していく教育の拠点としての中学校施設ということでイメージをしているということでございます。</p> <p>簡単ですが、私から説明させていただきます。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまのところのご説明について、ご質問等ある方は挙手でお知らせください。</p> <p>委員、お願いします。</p>
委員	<p>どうもありがとうございます。</p> <p>修正案になってきて非常にブラッシュアップされてきているということはよく分かるのですが、この問題は第3回のときに私がちょっと触れまして、近くの中学校の改築ということであれば中瀬があり、神明があって、あのとき手元でお見せはしませんでしたけれど、それぞれに改築基本方針を出されていました。当然基準ですから同じようなものが出てくるのは仕方ないのですが、それぞれの学校の特色を出すべきであると、その段階での案はすぐに浮かびませんでしたけれども、それを非常に強く感じました。</p>

この中で、さらに今日のご説明で、その1つの表れでしょうか固有
名詞が出てきたわけです。「天沼」という言葉が何度か出てきました。
前は非常に抽象的に「地域を語る」という表現だったのを、それぞれ「天
沼の何々」と出てきているということで、それによっていわば取り入れ
られることになりました。願わくばそしてこのことは我々も考えなけれ
ばいけないことになりますが、この天沼なるものと、その個性といいま
すか、特色が生かされていけば一番いいと感じました。

あともう1点は、これからの校舎改築という問題に比べれば非常に小
さいといえば小さいのですが、神明の最後の基本方針案の目標Ⅰに取組
Dがありまして、「改築期間中の教育活動に配慮した工事計画」という
項目があります。去年来、天中のいろいろな検討の中で皆さん心配して
いるのは、改築の2年半とか3年半の間に過ごす生徒さんたちへの対応
は本当に十分なのかという問題です。これはやむを得ないことではある
のですが、この後の図面の中でも仮校舎の問題という話にはなってくる
わけです。これに対する配慮をどこかに入れておくというのもあるのか
と感じます。

これは全体で、基本方針というのは将来を見つめた話なので、工事期
間中の話は当然にして配慮するということで終われば終わることにな
りますが、神明の場合は場所が非常に狭隘な中でやっているために、改
築も大変だったと思います。それであえて「改築工事期間中の教育活動
に配慮した工事計画」として取組Dを、目標Ⅰの中の最後に入れている
のではないかと推測します。

ここまで書かなくてもいいのかもしれませんが、この点はどこかに、
例えば目標Ⅲの「教職員や支援者が活動しやすい学校づくり」というこ
とで取組FとGがありますが、こういうところに入れてしまう方法もある
かと思います。これだけ暑い夏を何回か越えなければいけないわけ
で、中瀬の今の状態を見ますと大変だなという感じです。中に入って具
体的に見ているわけではないですが、生徒さんは仮校舎で授業を受けな
がら本校舎ができていくのを見守っていくわけで、そういう工事期間中
への配慮があってもいいのかなというのがこの点です。

天沼なるものということの特色がこれからかなり活かされていくと
思いますが、さらに何か今後も付け加えていくものがあればというのが
第1点です。第2点は仮校舎のあり方を含めて、工事期間中への配慮の
こととなります。

それからもう1つは、天沼の場合、どうしてもさざんかの問題がでて

	<p>きます。問題と言っては失礼ですが、当然きちんと位置づけようというのが今回の改築に際して、区全体の中でのあらわれであり、そこから取組KとLにさざんかが出てくると理解します。</p> <p>ただ、取組Kというのはさざんかのことだけを言っていてよいのか、目標Vという大きなテーマの中で、「児童生徒が安心して自分なり過ごせる場、保護者が安心して通わせることができる場」という広い概念です。さざんかをより一層ケアする必要があるにしても、生徒児童一般の話ではないかと思います。書き方、書きっぷりでそこら辺は対応できると思うのです。ここはさざんかのことだけを言っているのかなあというのがちょっと気になりました。</p> <p>それから、取組Lでさざんかステップアップ教室が出てくるのはいいと思うのですが、よりセキュリティとのリンクをここで強調しておく必要があるのではないかと思います。</p> <p>セキュリティの話は取組Oでまた出てきて、広く開かれた学校というあり方があるなかで、みなさん心配しているわけですが、要するに不審者が入らないようにといいますか、そういう対策を十分にとることをどこかに書いておこうという趣旨だと思います。何か強調点に強弱をつければ、そこら辺は対応できるのかなという気はいたしました。</p> <p>以上になります。</p>
進行役	<p>今、3点ほどありました。</p> <p>それでは事務局、お願いします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>まず、神明中の基本方針のときに工事期間中の配慮についても記載があったので、天沼中学校の場合にも記載してはどうかという意見でございました。工事期間中の配慮は当然にするものと認識してございまして、80年使っていく校舎を造る設計のための基本方針と認識しております。そのため、あえて工事期間中の仮設校舎の部分については記載をしませんでした。</p> <p>工事期間中、生徒さんの学習環境を守っていくということは、当然しっかり取り組んでまいります。冷房設備もしっかり入ってきますし、今の古い空調設備よりも、もしかしたらいいかもしれないということもあります。またどうしても少なくなってはしまいますけれども、運動スペースも確保に努めてまいりたいと思っております。</p> <p>ここでどの部分に入れることができるのかとか、その部分については一旦お預かりさせていただいて、検討させていただきたいと思います。</p>

	<p>それと天沼地域というところはちょっと意識して、特徴的な部分についてはあえて分かりやすく表記させていただきました。主に取組Ⅵ、取組Ⅶに多く記載はしてございますけれども、加えてさざんかステップアップ教室が併設されることも天沼中学校の特色の1つと考えてございます。特徴というところで捉えましたので、取組Ⅷでしっかりさざんかステップアップ教室のことを記載させていただきました。</p> <p>取組Ⅸでも「さざんかステップアップ教室」という言葉が出てきますけれども、ここではさざんかステップアップ教室の児童生徒の動線と中学校に通う生徒の動線が重なってしまって、ちょっとドキドキしてしまうというようなことがないように、そこは設計の中で配慮していく必要があると。そのほか大人の方も含めて、全ての利用者が安全に、快適に過ごしてもらうための配置をしっかりとする必要があるということでの記載をさせていただきました。</p> <p>取組Ⅷ、取組Ⅸを含めまして目標Ⅴですけれども、「安心・安全で居心地の良い生活空間としての学校づくり」ということで、ここでは学校を使う天沼中学校の生徒、教職員の方、または保護者の方ですとか、そういった全ての利用者の方を対象にして、安心して過ごしていただける空間をつくっていきたいと考えてございます。</p> <p>私からの説明は以上でございます。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>ほかにもございますでしょうか。</p> <p>委員、お願いします。</p>
委員	<p>ありがとうございます。毎度防災のことばかりで恐縮ですけれども、取組ⅧとⅨにつきまして、目標Ⅷに対応していて「天沼地域の」ということだそうですけれども、その割には極めて一般的なことをお書きになっていると思いますので、そのところは何かならないかなと思っております。</p> <p>取組ⅧとⅨは、そもそも杉並区の地域強靱化計画というのがあって、その中でも説明されているものでございますし、揚げ足取りのようで恐縮ですけれども、取組Ⅷで「発災時に円滑な活動が実施可能な防災倉庫」「資機材が取り出しやすい位置に防災倉庫を設ける」とあるのですけれども、発災時にいろいろな資材が取り出せないような防災倉庫は設けることはできません。ですからこれは当たり前のことであって、これは何も書いてないのと同じだということになります。ですから、このところはもっと違う文言が入るべきだろうと考えます。</p>

	<p>それから取組Qですけれども、発電のこと、マンホールトイレのことも、ご案内の方にはご案内の話ですから、わざわざここに書く話ではないと思われます。</p> <p>ですのでこの地域、天沼地域の問題、それからこの学校が抱えている防災に関する弱点ですよね。皆さんよく分かっていると思います。ここに住んでいる方もそうですし、学校関係者の方もみんな分かっていることですので、それに対してどういう対策を考えるのかということを入れていくべきではないかと思います。</p> <p>以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>事務局、よろしくお願いします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>ありがとうございます。当たり前のことしか書いていないというご指摘でございます。現在の他の計画等で記載されている取組という枠の中での記載となっている部分で、委員からご指摘があったかなと思います。記載方法については研究させていただきたいと思います。</p>
進行役	<p>そのほか、ご質問ございますでしょうか。</p> <p>委員、お願いします。</p>
委員	<p>今の取組PとQ、同じところで恐縮ですけれども、実は今日の午前中に全然別件でこれと同じような話をされていてちょっと気になったのですが、元のところでは「震災救援所」とか「救援活動」という言葉が入っていたのが、新のほうでは「救援」という言葉が一切なくなってしまって、「避難場所」になっているのです。</p> <p>なぜ午前中の話をしたかという、私、沓掛小と関係しているのですけれども、沓掛小は妙正寺川をしょっている関係で、時々水害について考えます。水害が起こりそうだというときに設定される避難所と震災救援所は全く別のものなので、ここで「避難所」という言葉と「震災救援所」がごっちゃになっていると、ちょっとまずいかなと感じました。</p> <p>「震災救援所」は震度5以上の震災が発災した後に救援を目的として、家が潰れてしまって避難してきた人たちの避難場所をつくるものの、それは救援のためにつくるものであって、例えば水害のように、これから台風が来て水害が起こるかもしれないから避難を促す、いわゆる避難命令が出たときに避難する場所では天中はないはずです。</p> <p>なので、ここのところで「震災救援所」とか「救援」という言葉が新のほうから一切消えてしまっているのは、今の実情とは違うかなと思います。もしくは、区のほうでこちらを避難所に指定するというお考えが</p>

	<p>あるのだしたら、そのところも加えていただければと思います。</p> <p>実は沓掛のほうでしているときに、一番近い避難所は中瀬中なのです。沓掛側からすると、妙正寺川を越えていけというところに避難所がありまして、それはいかがかと。</p> <p>ただ、ハザードマップを見ても、正直こちらのほうはあまり水害が起きない地域では確かにあるのです。多分「避難所」と「震災救援所」という言葉を区としては分けて使っているはずなので、そのところが基本方針の中でごっちゃになっているかなと感じました。よろしくお願いします。</p>
進行役	事務局、お願いします。
教育施設計画推進担当係長	<p>天沼中学校につきましては、水害時の避難場所には指定されておられません。震災救援所のみになっております。</p> <p>震災救援所の機能といたしましては、地震で家をなくされた方とかが避難をしてくる場所と救援活動の拠点となります。その部分については認識しているつもりではございましたが、誤解を招く表現であったかなと思いますので、先ほどのご指摘等を踏まえて、見直しについては研究してまいりたいと思います。</p>
進行役	<p>そのほか、ございますでしょうか。</p> <p>お願いします。</p>
委員	<p>さざんかのことで、先ほどもちょっと出ていたのですけれども、取組Kの子どもがどきどきしてしまわないようにというのはずっと気になっているところで、新しい案を見ても、大きい建物の中の一角に出来上がる感じだと見るのですけれども、動線が重ならない工夫とか、いろいろな工夫をしていくというのはずっとおっしゃっていると思います。その具体的な例というか、このような建物で、どうやって工夫すれば子どもが安心して通えるという工夫の具体例を教えてほしいです。</p>
進行役	<p>それは次のところになっていくので。これはあくまでも改築の基本方針の内容としてどうかという部分ですので、委員としては今のこの文言、改築の基本方針取組Kの「保護者が安心して通わせることができる」という方針についてはご賛同いただいているという理解でよろしいですか。</p>
委員	<p>そうです。その先の工夫がなかなか聞こえないので、ちょっと不安でした。</p>
進行役	<p>そこについては次のところで説明があるのと、順番としては配置があって、そこから実際に日照だとか、そのほかいろいろな条件を見ながら</p>

	配置を検討していく中で、またそのようなこの中でという、どうしても、スペースの問題や箱の問題も出てきたところを踏まえて検討していかざるを得ないと思うので。
委員	配置が先に決まって、そこからどうするかということですね。
進行役	<p>もうこの土地しかないので、その配置案を見た中から、専門の業者の方が設計案をこれから出ささせていただく中で、皆さんが初めてこれを見る資料になっていくので、その中でもうちちょっとこういうことができないのかというところは、この次の段階でご意見を頂く形になるかなと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>そのほかのご意見は。</p>
委員	<p>今日「学びのプラットフォーム」という言葉がまた出てきましたよね。多分、文科省における「共創空間」に相当するものかなと思うのですが、先ほどの「学びのプラットフォーム」、資料6で説明いただいたこの図を見ると、天沼地域でやっている共創的なものから、少し先を見据えたものまで含まれているのかなと思ったのです。</p> <p>今回は基本方針なので、これから出てくる配置案を見るときに、どういう視点で見るべきかというのがこの基本方針だと思うのですが、でも、「学びのプラットフォーム」で目指している将来軸みたいな時間軸的なことでいうと、「学びのプラットフォーム」で目指している少し先まで見据えた視点で見たらいいのか、それとも天沼地域で今行われている共創的な、地域連携的なもので見たらいいのか、どっちで見たらいいでしょうか。それだけちょっと教えてください。</p>
学校支援課長	<p>ありがとうございます。学校支援課長です。</p> <p>現在、天沼中学校学校支援本部とか天沼中学校区地域教育推進協議会とか、非常に活発に学校と地域の間をつないでいく取組はあります。今回の「学びのプラットフォーム」はまさに文科省でいう「共創空間」のようなことで、子どもの学びにとっても、大人の学びにとっても、双方向にとって意義のある空間にしようということになるわけです。</p> <p>今後、多様な地域の方たちが天沼中学校に集ったり、あるいは生徒が放課後等にいろいろな地域のプログラムに参画したりということが広がっていくよう、今取り組まれている活動をベースにしながら、より多くの方に参加いただけるような空間としてのデザインかできればと考えているものでございます。</p>
委員	分かりました。何か連携の機会が増えるということですね。
進行役	そのほかございますでしょうか。よろしいでしょうか。

	<p>それでは、続いて次第3「新校舎の配置計画案について」、相和技術研究所さんからご説明いただきたいと思います。よろしくお願いします。</p>
設計事務所	<p>改築校舎の配置案をただいま検討しておりまして、本日はそちらにつきまして簡単に説明させていただきます。よろしくお願いします。</p> <p>まずはお手元にある資料7からですが、こちらが校舎配置案ごとのステップ図となります。</p> <p>簡単に見方から説明させていただきますと、案が上からA、B、C、Dの4案の構成になっておりまして、左から工事を始めていくステップになります。ステップ1から右側に向かってステップ6ないし8まである案になっております。まずそういう形で、上から下4段で配置案を分けさせていただきました。</p> <p>見方としましては、一番下に凡例がありまして、黄色く塗られた建物がそのステップで解体する建物、水色は使用中、ピンク色は工事中となりまして、各工事の段階で、赤色一点鎖線の仮囲いの中で工事が行われていくように表しています。</p> <p>また、色付きの三角形の記号は各動線です。学校の生徒さんが出入りする動線ですとか、給食関係ですとか、工事車両が入る位置ですね。あとは、緑に塗られたものは、各工事中の校庭として利用できる範囲。今は想定ですが、可視化して見やすくしたものになります。</p> <p>今回、こちらの天沼中さんの計画敷地の中で、現状の学校運営をしながら改築工事を行うという条件がまずあります。その中で、我々のほうで現地を見させていただきまして、あと周辺環境を見させていただいた中で、案としましては既存体育館を利用するA案、B案、上2段と、既存校舎を利用しながら工事するC案、それと一部既存校舎、管理教室棟と既存体育館を利用するD案という4案を提案させていただけたらと思っております。</p> <p>そうしましたら簡単に上から、A案から順番に説明させていただきます。</p> <p>A案につきましては、西側校舎配置案となります。</p> <p>改築校舎延べ面積は約8,700平米、校庭面積は約4,400平米となります。</p> <p>工事の流れとしましては、ステップ1で敷地南側にあるプール、テニスコートを解体して、そこから工事車両が入っていける動線を造ります。その後、仮設校舎を建設しまして、既存校舎解体、新校舎建設、既</p>

	<p>存体育館、仮設校舎を解体しまして、最後グラウンド、外構関係の環境整備の順番で改築を行う計画としております。こちらは1つの工事の中で、最初から最後まで整備ができるという特徴がある案になっております。</p> <p>続きまして、B案についてです。こちらは北側校舎配置案になります。</p> <p>改築校舎延べ面積はおよそ8,400平米、校庭は3,650平米。今、校庭が大体4,000平米程度になりますので、そちらを基準で考えてもらえればと思います。</p> <p>工事の流れとしましては、同じくプール、テニスコートを解体しながら、あとは一部南側の校舎を解体した後、仮設校舎を南側に建設します。その後に既存校舎を解体して、新校舎を建設。その後、既存体育館と仮設校舎を解体して、最後に一部新校舎の建設と環境整備の順番で、改築を行う計画になっております。</p> <p>続きまして、その下のC案につきましては、東側校舎配置案になります。</p> <p>改築校舎の延べ面積は8,300平米、校庭は4,100平米。</p> <p>工事の流れとしましては、プール、テニスコートを解体しまして、仮設体育館を建設して、その後に既存体育館を解体します。その後、新校舎を建設して、既存校舎、仮設体育館を解体します。その後、最後、B案と同じく一部校舎を建設しまして、環境整備の順番で改築を行う計画になります。</p> <p>続きまして、最後D案です。こちらは南側校舎配置案になります。改築校舎延べ面積は約8,400平米、校庭は約4,300平米となります。</p> <p>工事の流れとしましては、プール、テニスコート解体、仮設校舎建設。その後、一部既存校舎、西側の特別教室棟を解体して、新校舎を建設。その後、北側の管理教室棟と既存体育館を解体しまして、一部新校舎を建設した後に仮設校舎を解体しまして、最後にグラウンド等の環境整備の順番で改築を行う計画となっております。</p> <p>どの案にも共通して、基本的には敷地の南側から工事車両等、工事が始まっていく計画が、今考えられる中ではいいのかなと思ひまして計画しております。</p> <p>以上で配置計画案ごとのステップ図の説明は終わりになります。ありがとうございます。</p> <p>そのまま続きまして、資料8の説明をさせていただきます。</p> <p>こちらの表につきましては、一番左端が既存校舎の配置になりまし</p>
--	--

て、そこから右側にA案、B案、C案、D案という形で表をまとめてお
ります。

見方としましては、各案ごとに改築校舎の配置ですとか、一番上が配
置で、その下は改築後の建物が周辺に落とす日影です。それから校舎、
校庭、周辺環境、工事計画、工事期間、解体、仮設、最後の改築に係る
コストの視点で、既存校舎と各配置計画案の違いを整理した資料になり
ます。

まず、簡単にA案から説明させていただきます。

A案につきましては、先ほど説明させていただいたとおり、敷地西側
に校舎を配置することで、特徴としましては校庭が南北方向長手に確保
できます。登校時には、生徒さんが南北両方の門から昇降口にアクセス
できる計画としております。今、現状としましては北側に昇降口があり
まして、そちらから出入りされていくのがメインになっているかと思う
のですけれども、学区の範囲図を事前に確認させていただいたときに、
天沼中の位置関係としては学区の中心よりちょっと上側にあるような
位置づけになりまして、使い勝手、登校のしやすさとか、南側にも恐ら
くいらっしゃる生徒さんは多いと思いますので、そちらに配慮した計画
になっております。

続きまして、周辺に落とす日影につきましては、今、既存校舎の日影
が表の一番左のオレンジと水色の線。オレンジが1日の中で2時間程度
日影を落とす範囲で、水色が3時間程度日影を落とす範囲になっており
ます。こちらは既存に比べますと、西側に対する日影が既存より若干増
えるような形になっておりまして、そのほかは既存より日影の範囲はあ
まり大きくならない計画となっております。

普通教室の向きにつきましては、今、現状が南側校庭に向かっていま
して、A案は東側になる計画となっております。

校庭面積につきましては、現状よりも400平米程度増となります。

工事期間につきましては、仮設校舎、改築校舎、既存校舎解体等、環
境整備を合わせて約61か月程度を想定しております。

コストについては、仮設校舎の規模は今回仮教室棟を含めて校舎全部
になるので、仮設校舎の規模としては4案の中で一番大きくなるのです
けれども、新校舎建設工期としましては1期で収まるために、総コスト
としては4案の中で一番低いと考えております。

続きまして、B案になります。こちらにつきましては北側校舎配置案
ということで、校庭が敷地の南側に、東西軸に長手方向が確保できる案

	<p>になります。既存校舎と同じ、登下校時は北側の門から昇降口にアクセスする計画となります。</p> <p>周辺に落とす日影につきましては、既存と比べまして西及び北側の一部で日影範囲が大きくなる計画となります。</p> <p>普通教室の向きにつきましては、既存校舎と同じ南向きが確保できる計画となっております。</p> <p>ただ、日影の関係で多少南側に位置を取らないといけなくなりまして、面積としては 350 平米程度小さくなるような計画となってしまいます。</p> <p>工事期間につきましてはトータル、合わせまして 60 か月程度を想定しております。</p> <p>コストについては、仮設校舎の規模は A 案と同規模となるのですが、新校舎建設工期としましては 2 期になるため、総コストは A 案よりも増と考えている次第です。</p> <p>続きまして、C 案です。こちらは東側校舎配置案で、A 案と同様、南北軸に校舎長手が確保できる案になり、登下校時は南北両方の門から昇降口にアクセスできる計画となっております。</p> <p>周囲に落とす日影は、北側一部の日影範囲が既存よりも増える計画となります。</p> <p>普通教室の向きにつきましては、南向きと一部東向きになるであろうと、今、検討しているところです。</p> <p>校庭規模につきましては、現況よりも 100 平米程度増となる計画となっております。</p> <p>工事期間につきましては、計 58 か月程度を想定しております。</p> <p>コストについては、仮設校舎の規模は比較的小さいですが、新校舎建設工事としましては 2 期にわたるため、総コストは A 案よりも若干増という計画となっております。</p> <p>最後、D 案につきましては、こちらは南側校舎配置案です。ということで北側に校庭が確保できて、東西方向に長手軸が確保できる計画となっております。既存校舎とは異なりまして、登下校時には生徒さんの出入りは南側の門から昇降口にアクセスする計画となっております。</p> <p>周辺に落とす日影は、西側及び東側の一部が既存よりも増える形。</p> <p>普通教室の向きにつきましては、ピンクの点線で囲っている範囲で、南側になります。ただ、B 案の南向きに比べますと、道路挟んで向かい側に住宅がありますので、ちょっと住宅に近い南向きなので、多少圧迫</p>
--	---

	<p>感は感じる計画になるかなと思います。</p> <p>校庭面積につきましても、現況より 300 平米程度増となります。</p> <p>工事期間につきましては、66 か月程度を想定しております。</p> <p>コストにつきましては、仮設校舎の規模は 4 案の中で一番小さくはなるのですけれども、リース期間が長いことと、新校舎建設工期も 2 期にわたるため、総コストとしましては A 案よりも増となるであろうと考えております。</p> <p>以上が A、B、C、D 案の特徴の説明になります。ありがとうございます。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。それでは、ただいまの説明について、何か質問等ございますでしょうか。初めての配置案ですので、いろいろご意見あるかと思いますが。</p> <p>委員、お願いします。</p>
委員	<p>日影について教えてください。</p> <p>既存と A 案を比べた場合に、西側校舎配置案、ここは今、2 階建てです。それを 3 階建てを建てるので、東側、つまり校庭側にずれているということで日影が変わらないと理解していますが、正しいですか。——正しいですね。</p> <p>既存と B 案を比べていただいて、北側配置案ですが、今、既存の北側校舎は 4 階建てですよ。これが 3 階になるのに、何で南側に、校庭側に移動しなくてはいけないのか分からない。</p> <p>要は、今 4 階あるのが 3 階に低くなるんだから現状維持、つまり北に寄せて建てても、日影は現状より少なくなる。いわゆる北側の家庭に日影はそんなに影響ないのではないかと、素人目に考えるのですが、南側に寄せた理由はどういうことでしょうか。</p>
設計事務所	<p>前回の懇談会の敷地の条件整理の中で、日影の 2 時間、3 時間の制限ラインがあったかと思います。まずはそこの中に収めることが前提で、その中で、今の現状で、既存の校舎につきましては既にオーバーしている位置にあります。</p>
委員	<p>それは分かっていますけれども、今、この日影の図を見て、既存と B 案を比べてください。既存の線が茶色と水色ですね。そこが 3 階になるのだから、今の位置に建ててもそれよりむしろ低くなるのではないかと素人目に考えますが、違いますか。つまり、南側に寄せないと日影が保たれないという理由が分からない。</p> <p>今 4 階が建っていて、日影線がありますね。そのままの位置でもし 3</p>

	<p>階建てたとしたら、それより南側に寄りますね。普通に考えると。そうなりません。それをわざわざ南側の校庭側に移さなければいけない理由が分からない。それが質問です。</p>
設計事務所	<p>前回の懇談会でこれをご説明したのですが、今回3階建てで12メートルを計画するところで、認定制度を取るというお話をさせていただきました。それで北側の後退距離も決まっています、これも含めて建物位置が決まってきます。日影の影を落とす位置と、認定上、北側から離さなければいけない距離がありまして、それを踏まえて計画すると、今の校舎よりも南側にどうしても出てきてしまうというのがございます。階数を減らしてもそれはかかってくるので、両方が相まって、全体的には南にどうしても出てくる形にはなります。</p>
委員	<p>位置関係でそうならなくてはいけないのは、それはしょうがないですが、校庭が狭くなってもったいないと思ったので。</p>
設計事務所	<p>それは確かにそうなのでは。</p>
委員	<p>今の構成上しょうがないと。</p>
設計事務所	<p>そうです。</p>
委員	<p>分かりました。ありがとうございます。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>そのほか、ご質問ございますでしょうか。</p> <p>では、委員、お願いします。</p>
委員	<p>どうもありがとうございます。委員のご質問と、前回委員が確認されていた、現在の4階建てというのは、たしかに今は建てられないということだったと思います。新しい場合には今の基準に沿ってやらなくてはいけないということがあると思います。</p> <p>それから、平面図からは分からないですが、建物全体はぼこっとしたこの立体、直方体なのですか。それとも斜線を気にして一部屋上を切っているのかどうなのかなど。各案のこの延床面積だけを見ていると、それぞれによって建物が完全にぼこっとした直方体ではなくて、実はそれぞれ少し違うのではないかなあと思えました。</p> <p>私からの質問は結局、A、B、C、Dというのは主たる校舎を東西南北にまずは置いてみましたというものです。そこから、グラウンドの面積がその結果どう出ると。そのことだけしか分かりませんし、今の段階では仕方がないので、まずは配置からやって、それからいよいよ建物の中身というか、外観のデザインなどそういうものに入っていくことになる。ここで結局見るべきは資料8で、どのぐらい周辺への</p>

	<p>影響が出てくるのかというのが取りあえず分かるわけです。その程度の情報でこの後ワークショップというの、なかなかきついなと思うのですけれども、今の段階ですといろいろな意見が出てきてしまうと思います。その辺りで、今日はどのぐらいのことを議論するのかと定めないと、なかなか難しいなと思いました。</p> <p>それとグラウンドの長手方向が東西と南北とで、杉並区のいろいろなグラウンドを見ていて何か違いがあるのか、できればこれは東西に置きたいと考えられるのかなど、そこら辺のことが1つあります。</p> <p>もう1つは、周辺の住民の方にとって、いずれこれを説明することになると思いますが、もちろん許容はしていただけるにしても、非常にクルーシカルな点はこのところだということを知らせてほしい。ほかの場合のご経験から、できるだけこちらに寄せたほうが周辺は安心しますとか、そういう辺りの情報も欲しいなあと感じます。</p> <p>左に寄せてしまいますと、西側にお住まいの方々は、今との比較の問題はありますが、東からの午前中の日照が得られなくなるわけですね。東に寄せますと西日が遮られるという感じです。この図にあるような斜線の結果としての影が出るのはやむを得ないと思うのですけれども、その辺りはどうなのでしょう。南に配置すれば北側斜線はあまり気にしなくてよいということになります、東西についてもそうなのかもしれません。</p> <p>ただ、学校の風格とか、そういう問題もまた出てくるでしょうから、今の段階では感想みたいな話になります。この後の皆さんで議論するためのプレリュードみたいなお話ですが、ご専門の方から見識を教えてくださいいただければと思います。</p>
設計事務所	<p>ご質問ありがとうございます。今日どこまでご議論が進むかというところは、進行の先生のほうから2案程度に絞っていければというお話もございましたけれども、初めてこういう形で4つ、東西南北の案を見てどれがいいのだと言われても、確かに困りのことはあるかと思います。</p> <p>その中で幾つか、今回、評価項目で「○」とか「△」がついているわけですが、その前にこれからこの案を絞っていく中で考えられる視点としては、例えば工期、全体の事業期間がどのくらいかかるかというのも一つ大きな指標かと思います。そういった意味では、A、B、C、Dでつくってますけれども、D案についてはほかの3案よりも少し工期が長くなりそうだという辺りの視点は1つあるかと思います。</p>

	<p>それからもう1つ、仮設校舎をどういう形でできるかというところで、これも生徒さんまたは職員の皆さんの環境が変わるわけで、引っ越しとかもございます。そういうのが基本的には少ないほうがよいかなということもあるかと思います。そういう中では、A、B案が丸ごと仮設校舎を造らなければいけない案に対して、例えばC案は体育館を仮設で造るというところでは、そういう視点でいくとC案は有利なのかなと考えられます。</p> <p>あとは、これから何十年、学校がこの地域に存在していくことになりますので、最終的に完成形がどういう形になるかという視点で見たときに、どれがいいかというところを決めていくのはなかなか難しいかと思うのですが、今の学校のグラウンドを囲むような校舎の配置では、日影の規制ですとか、建て替えの手順とかの中で、グラウンドの広さも確保するという視点になるとなかなか難しいので、どこかに寄せて一体的に造るのが、全体的な無駄のない敷地の活用になると思います。</p> <p>そういった視点で、この中ではこれがいいかなみたいなご意見が出てくればよろしいかなと考えて、今日臨ませていただいております。</p>
委員	<p>1点だけなのですが、ぽこっとした建物になってしまっているのですが、中はアトリウムを考えていらっしゃるのですか。光をどうやって採るかといったあたりが質問です。</p>
設計事務所	<p>そうですね。ボリュームが、例えばA案とかは3階建てで、西側に結構来るといえるか、ぽこっとなっている形になりまして、この中に例えば吹き抜けを設けるとか、そういうのもこれから、今、同時に検討しながら進めてはいるところでございます。そういう固まりになってきますと、採光とか通風が取れるボイドスペースとかいうのは、案によっては出てくるかなと思います。</p>
委員	<p>バリエーションはあるのでしょうか。少し端を出すといえるか、完全なL字ではないにしても、短いLみたいなものはあるということですかね。</p>
設計事務所	<p>その辺は今後の検討になるかと思います。一旦ありがとうございます。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは委員、お願いします。</p>
委員	<p>子どもたちの動線の入り口を見ていて、消防車とか救急車、緊急車両が天中の辺りは入りづらい道なのですが、その辺はどう確保なさっていくのかなと思ひまして、よろしく願いいたします。</p>

進行役	<p>結局、今、現状だと東門から救急車を入れていて、北門や南門は使えてないという状況の中で、緊急車両はこれらの配置図でいったときにはどこから入っていくような想定で今考えられているのかというご質問になると思うのですけれども。</p>
設計事務所	<p>ありがとうございます。前方の画面で見ますと、現状の配置の東門からということになると思います。それが今可能となると、例えばA案はグラウンドが東側に面していますので問題ないかなと。Bがグラウンド側にないので、この辺のしつらえをどうするかというところは出てくるかだと思います。こちら（C案）も同じ感じになります。D案については、東からのアクセスは可能というところになります。</p> <p>前に、南側から今のテニスコートのところ、私道になるかと思うのですけれども、こちらが一番広いところで、これから調整をしていくのですけれども、こちらが利用できれば南側からのアクセスも、A、Bについては可能になってくるのかなというところで想定をしておりました。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。南側のところは私道で、いわゆる区道ではないこともあって、その辺のところも考えていく必要があるということですね。</p> <p>それでは、事務局から補足説明がちょっとあるということなのでお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>ただいま設計事務所から説明させていただいてる案でございますけれども、今後、議論の過程で、校舎の形ですとか工事の期間など、そこらは変わっていく可能性があります。</p> <p>また、改築の規模でございますけれども、現在いずれの案も 8,000 平米を超えております。これまでの懇談会でもお話ししてきましたけれども、天沼中学校の改築規模につきましては普通教室 12 学級で、トータル 7,500 平米が基本になってきます。こちらにさざんかステップアップ教室の分が加わるものでございます。今後、平面計画等を検討する中で、一層のスリム化というところの視点は忘れずにやっていかなければいけないと思っております。</p> <p>以上でございます。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。</p> <p>今のご説明のところで私からちょっと質問させていただきたいのですけれども、7,500 平米が基本となる、それにさざんかステップアップ教室が加わるということです。例えばA案、B案、C案、D案どれも 8,000 平米を超えているということで、例えばこれはいわゆる建築基</p>

	<p>準法でいったときの容積率とか、その辺は全部クリアしている中でこの数値が出てきているということですのでよいですね。</p>
設計事務所	<p>それは問題ありません。</p>
進行役	<p>ということは、7,500 平米が学校スペースだとしたときに、予算の関係もあるので一概には言えないですけども、さざんかステップアップを例えば広めにとかゆったりめにとるということは、この枠の中ではできるという考え方はあり得るということによろしいでしょうか。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>おっしゃるとおりです。</p>
進行役	<p>ということも含めていただいて、さざんかステップアップのことも含めて考えていければと思います。</p> <p>残り 30 分を切ってしまっってグループワークというところになってきて、かなり厳しい時間とはなっておりますが、こここのところから次にグループワークに移っていきたいと思います。</p> <p>それでは、事務局に進行を移したいと思います。よろしくお願いします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>まずグループワーク、当初想定していたものでございますけれども、最初に個人ワークとして、本日示された 4 案について、それぞれ皆さんの直感でいいのですけれども、良いところ、悪いところ、あとは自分だったらこっち側の案がいいなというようなところがありましたら、そちらについて、こういうところがいいというような視点で考えていただいても結構です。ご意見をお寄せいただけたらありがたいと思います。</p> <p>また、比較検討する中で、資料 8 の中に特徴としていろいろ記載してございますけれども、これらの条件のほかに、こういった条件でも比較、考えてもらいたいというご意見がありましたら、そういったところもぜひお寄せいただきたいと思いますと思っております。こちらは個人ワークとして大体 5 分ぐらい、時間をつくってやりたいと思います。</p> <p>その後、グループワークに移っていきますが、そのときに個人で考えたご意見等をグループの中で共有していただき、また意見交換をしていただきたいと思います。</p> <p>机の上にメリット、デメリットなどを記載するワークシートみたいなもの、ちょっと大きめの紙を用意しておりますので、そちらを活用していただいて、附箋紙に意見をご記入いただいて、メリット、デメリットあるいはいいところ、悪いところを、A 案のメリット、B 案のデメリットみたいなところに意見を書いて附箋を貼っていただきたいと思います。</p>

	<p>す。それを 10 分程度やらせていただいて、それぞれの班のまとまったものについて簡単に発表いただきたいと思いますと思っています。</p> <p>発表が終わった後、学識経験者のお二人の先生に、それぞれの意見をお聞きいただいたところでのコメントを頂きたいと考えております。学識のお二人の先生からは、委員の皆さんあるいは事務局へ、今後案を絞っていきますけれども、そのときに向けての考え方等についてのアドバイスを頂きたいと考えております。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、まず 5 分間、図を見ながら考えていただきたいと思います。では、始めたいと思います。よろしくお願いします。</p> <p>事務局の職員が周りにおりますので、何か不明な点等ありましたら、手を挙げていただきましたら質問にお答えするようにしたいと思います。</p>
	(個人ワーク)
教育施設計画 推進担当係長	<p>5 分たちましたので、皆さんで意見交換をしていただきたいと思います。</p> <p>この後 10 分、意見交換しながら、大きい紙に附箋紙を貼っていただきたいと思います。</p>
	(グループ討論)
教育施設計画 推進担当係長	<p>それでは、10 分たちましたので、各班で出た主な意見を 1 班につき 1 分でまとめられますかね。厳しいですけれども。</p> <p>では、主に各案のメリットと、次回に向けた事務局や設計事務所への注文を中心に発表していただきたいと思います。</p> <p>申し訳ありません。順番に 1 班からお話しいただいてもいいでしょうか。どなたかお願いできますでしょうか。</p>
委員	<p>時間が短かったものですからあまりあれですけれども、まず問題になったのは、緊急車両がどこから入ってくるのだろうというところを考えると、A とか B がいいのではないかという話があります。</p> <p>一方で、今まで 4 階まで建てていたのが、実際には無理をして 3 階まで建てられるわけですね。この周辺というのは、一般住宅は 2 階までしか建てられないわけです。多分、分かりませんが、今ここにこの建物を建てるときに、私の聞いた話だと、3 階まで建てたかったのだけれども、周りのいろいろな意見があって、2 階しか建てられなかったと理解しています。そうすると、今この場所に 3 階を建てるのは多分無理なのではないかということがありまして、A 案は無理なのではないかという話は出ています。</p>

	<p>それともう１つ話題になったのは、Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄの４つの案で、どれもテニスコートがないのですね。</p> <p>それがテニスコートなのですか。ありました。それは説明を聞かなかった。</p> <p>ということがありまして、あまりまとまっていませんけれども、ほかに何かありますか。</p> <p>以上です。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>ありがとうございます。</p> <p>引き続き２班の方、お願いできますでしょうか。</p>
委員	<p>２班、発表します。２班４人とも、Ａ案推奨です。Ａ案はメリットが多かったのですが、一番重要なのは、生徒が教室から外を見たときの視線がＡ案は校庭が見えて、それから夏の時期ですと、南側は暑いのも避けられるのでＡ案がいいだろうという意見が多かったです。それから、校庭面積が一番広く取れそうなので、これが校舎の据わりも含めていいだろうと。</p> <p>Ｂ、Ｃ、Ｄについてはデメリットしか出てこなくて、Ｂ案はさっき私が言ったように、校舎が今の基準よりはずっと南に来なくてはいけないので、それから暑さも暑く、校庭も狭くなってしまう。これはちょっと厳しいかなと。</p> <p>Ｃ案については、特にコメントがなかったです。私個人として、特別教室、さざんかステップアップ教室の児童生徒が体育館を使う想定であれば隣接しているので、そういう意味ではその児童生徒にとっては体育館が隣接しているのはいいのかなと思います。</p> <p>Ｄ案についてもデメリットが多いですが、私、個人的に南側に寄せれば４階が建つかなと思ったけれども、今、基準で駄目だということなのでそれは諦めて、あと緊急車両が入れないことが心配されます。これはちょっと工夫して、１階の一部を吹き抜けにして、運動場にすり抜ける。緊急車両も通れるある程度の高さを設計すれば、そういう問題は、南側から緊急車両を入れてもいいのかなと思います。</p> <p>あとＤ案のデメリットとしては、教室の配置が南側にへばりついてしまうので、目線が住宅側を見るので、とてもベランダは造れない、窓になるだろうということからしても、生徒の目線からすると、Ａが一番据わりがいいのかなというのが我々の結論。</p> <p>以上です。</p>
教育施設計画	<p>ありがとうございました。</p>

推進担当係長	引き続き3班の方、お願いします。
委員	<p>私たちもA案が一番いいのではないかという話になりました。さざんか教室の独立性が保たれるというところですか、動線が別になるというところが、さざんか教室の目線ではとてもいいのではないかというところですか。</p> <p>あと面積もA案がやはり一番広く取れているというところで、A案がいいのですが、デメリットとしては、今まで2階のところが3階になることでいろいろ影響があるのが気にはなるので、その点どうしていくかというところを考えられれば、A案が一番いいかなと思っております。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>ありがとうございました。</p> <p>では4班、お願いいたします。</p>
進行役	<p>取りあえずA案のメリットがすごくいっぱい出てきています。やっぱり校庭が広いことだとか、建物にゆとりがあるとかいうところを考えると、ちょっと吹き抜けとか入れたり、そういうしゃれおつなこともできるのではないとかいうこともあったりという部分。</p> <p>あと3方向、北も南も東も使えるという意味では非常にいいのではないかと思います。</p> <p>あとこの時期だからこそ実感している、うちの校舎はエアコンが効かないので、今4階、3階暑くて。昨日も3-Cに行って、「エアコンつけないの？ 暑くない？」と言ったら、「いや、うち効かないんですよ」と女の子に言われてしまいまして、「ごめんね」と言いながら。恐らく古くて断熱がちょっと弱いのと、その辺の廊下に熱がこもるというのもあって、換気がなかなかうまくいかないというところもあったり、いろいろな要因はあるのですけれども、整備課のほうでその辺の対策を今後していただくという話にはなっているのですが、うちは改築校なので多分それは期待できないことを考えると、プレハブに行ってしまったほうがいいなというのがありまして、プレハブに行けばいいなと思うと、やっぱりA案のほうがいいかなというところで。</p> <p>その逆の意味では、C案はプレハブに行かないで旧校舎が使えるので、教員からすれば引っ越ししなくていいので非常にありがたい、楽でいいのですけれども、ただ暑いかなというところがあって。この数年、3年ぐらい暑い時期を過ごさなければいけないということを考えると、プレハブに行ってしまうのは大きなメリットかなと思いました。</p> <p>B案は特に出てきていないですけれども、校庭が狭くなってしまうのと、B案、C案にも言えるのですけれども、運動会がきついなど。A案、</p>

	<p>D案だと、校庭を見たときに生徒席、保護者席がある程度つくりやすいですけれども、B案、C案だとへりまでトラックが来てしまいそうだなと思うと、保護者席とかをつくるのがすごく大変そうだなと思うと、B案、C案辺りはちょっと苦しいかなと。</p> <p>C案に関しては、適応指導教室が先ほどもありましたけれども、中学校側の配置と少し分かれているところがあって、こういう配置の工夫がほかのところにもあるといいのかなと。先ほど委員のほうでも話がありましたけれども、体育館と適応指導教室で挟むような感じになっているとか、そんな工夫をほかのところで取れてもいいのかなと思います。</p> <p>あとD案のところで行くと、南側はアクセスが楽なので、天中は皆さん必ず迷うので、南門側を案内されて、ぐるっと回ってどこに出たか分からなくなって、2周ぐらいするというのがいつものことなので、そうするとD案のような形で南側に、ここにあると分かったら、アクセスが非常に楽になると思いました。</p> <p>あとデメリットとしては、冬、校庭に日がほとんど当たらないから寒いだろうというところと、校舎からの景色が悪いかなというところが出てきておりました。</p> <p>こんなところになります。以上です。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>皆様、ありがとうございました。</p> <p>お時間、4時になってしまいました。もしこの後ご予定ある方は、先生方のコメントだけ聞いてお帰りいただいて結構でございます。事務連絡については、後ほどお知らせするようにいたします。</p> <p>では、コメントをお願いできますでしょうか。</p>
委員	<p>皆様、お疲れさまでした。最後はちょっと楽しんでもらえたかなと思います。</p> <p>今日この4つの案が出てきて、どういう視点で見たらいいのかとか、どう意見したらいいのかというアドバイスの的なものがなかったので、最初、皆さん戸惑ったと思います。それは事務局の反省材料として、次回以降に生かしてもらいたいです。</p> <p>それでもなお、皆様から今日大事なものを頂いたと思います。それは地域が目線でこの案を見たときに、こんなところが課題なのではないのかとか、こういうふうに私たち見ているのだよという意見が、今日の発表の時間もすごく短かったのになかなか共有できてないですけれども、グループを見た限り、いろいろな視点が附箋に書いてあります。これが、恐らく設計者の皆さんが欲しかったもののはずです。設計者の方はプロ</p>

	<p>ですけれども、地域を目線を、住民として見ることはないから、多分そこが欲しかったのですよね。それが得られたという点では、すごくよかったと思います。時間はもうちょっと長くしましょう。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>私からのコメントとしては、本当に先生と同じような感じです。今回初めのほうに示していただいた基本方針の修正案がございました。これと今回出てきた配置案を比較してみますと、実は確認できるところがすごく限られていて、例えばビジョン1に関しては、今回全く検討できないのです。なぜなら、これは学校内のことだからです。この中身が見えないので、それについては次回以降にでしょう。</p> <p>ビジョン2と3については、確認できる場所とそうでない場所があります。</p> <p>例えば目標Ⅵです。今日初めて出てまいりました「学びのプラットフォーム」に関しては、全ての目標に関連するところでもあるので、ここはそもそも確認することができません。もしできたとしても、地域の通用口のところかなというぐらいです。そうすると目標ⅣとⅤとⅦのことに関して、この図から検討されることになったのかなと思います。</p> <p>ただ、それぞれの班の中で書かれているコメントを整理してみると、このⅣかⅤかⅦかのどれかに分類される場所だと思います。特にセキュリティのところかと思い、拝見させていただいておりました。</p> <p>これまでの議論にもよく出ていた適応指導教室の動線に関して、AからDまでそれぞれ見てみると、これまで出ていた案の中で適応指導教室の名前だけがよく出ておりました。私たちが考えなければいけないのは今後80年使う、これから先のことです。そうすると、今は「適応指導教室」という名前ですけれども、ここ数年先になるとどうなるか分からないですね。ものすごいいろいろな子たちが出てきて、いろいろなグラデーションが出てきて、そういう子たちにも対応することとなると、例えば生徒用の通用口からそういう対応する教室までの距離が一番短いのはどれだと。校門を入ってからしばらく歩かないと、自分の目標の教室まで着かないとなったら、これは苦しいですね。そうすると、どういう配置がいいだろうかと見てみると、A、B、C、Dでどうなっていくのかという観点からや、ビジョンⅣ、Ⅴ、Ⅶのところからなど、いろいろな見方が出てくるのではないかと見ておりました。</p> <p>そうすると、今日出していただいたような暑いや寒い、砂ぼこりがなど、それらを踏まえて総合的なところを見てみると、このA、B、C、</p>

	<p>Dの大きな枠の中でも、さらにここもっと細かくできるのではないかと いうところが、皆さんのコメントに隠れているかなと思います。それは また事務局で整理していただければというところでございます。</p> <p>私からは以上でございます。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次回は平面計画等も資料としてご準備いただけるというお 話ですので、それに加えて、本日皆様から頂いたご意見について、また 設計事務所等でもご回答をご準備いただきながら、それらを総合的に判 断した上で配置案を2案程度に絞り込んでいきたいと思っております。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p> <p>予定していた議事は以上となりますので、事務局から連絡事項をお願 いいたします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>連絡事項でございます。</p> <p>まず、1点目でございます。毎度ですけれども、感想シートにつしま して、本日の懇談会のご意見等、ご記入いただければ幸いです。</p> <p>記載が終わったアンケート用紙は、お帰りの際に出口の職員にお渡しし てくださいようお願いいたします。後日提出される場合には、返信用封 筒をご利用ください。職員にお声がけいただきたいと思います。</p> <p>2点目でございます。本日の議事録につきましては、約1か月後を目 途にしております。次回の9月29日より前を目標に皆様にご送付させ ていただきますので、ご確認いただきますようお願いいたします。修正 がありましたらご連絡ください。</p> <p>3点目でございます。今後の懇談会の日程をお知らせいたします。次 回は9月29日月曜日、午前10時から正午を予定しております。会場は 同じく視聴覚室でございます。その次の回でございますが、11月12日 水曜日、午前10時から正午を予定してございます。よろしくお願いいたします。 改めて、また通知のほうはさせていただきます。</p> <p>また、懇談会と関連しまして、懇談会での検討状況を周辺の皆様に対 して、オープンハウス、住民説明会を開催したいと考えております。日 時は10月18日土曜日の14時から16時、2回目が10月20日月曜日 の18時から20時。この2回、住民説明会を開催しようと考えておりま す。会場は天沼中学校1階の昇降口、サロンの辺りを候補として考えて ございます。</p> <p>内容につきましては、次回9月29日までに、この懇談会で開催しま した内容をA1サイズのパネルにしまして、来場者の皆様に御覧いただ</p>

	<p>きまして、職員が説明をしていくという形式の説明会を開催する予定でございます。来場者にはアンケート等も実施しまして、校舎の配置計画等についてご意見を頂きまして、最終決定の際の参考にしていきたいと思っております。</p> <p>オープンハウス開催の周知につきましては、「広報すぎなみ」10月1日号に記事を掲載いたします。また「改築ニュース」も発行いたしまして、周辺地域に配布する予定でございます。</p> <p>事務局からは以上でございます。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、最後に学校整備・支援担当部長からご挨拶いただきたいと思います。</p>
学校整備・支援 担当部長	<p>皆さん、本日はどうもありがとうございました。今日頂いたご意見を改築基本方針に反映させていただいて、次回しっかり確認させていただければと思っております。</p> <p>配置案についても、時間が短い中でグループワークをさせていただいて、様々な意見を頂けたかと思います。スケジュールがかなり厳しい2時間の中での議論でしたので、次回はもう少ししっかり皆さんの意見が集約できるような形の時間配分を取って運営できればと思っております。引き続きよろしくお願いいたします。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上で終了したいと思います。どうもありがとうございました。</p>